

報道機関各位

『北九州市立高校生』と『国家戦略特区活用のスタートアップ企業』がコラボ
高校生が企画・デザインしたお土産（アクセサリ）が商品化！
武内市長へプロジェクトの概要と商品の完成を報告します

アントレプレナーシップ（起業家精神）教育に力を入れている北九州市立高校と、国家戦略特区スタートアップ・ビザを活用して創業した香港発のスタートアップ企業 FUTAGO JAPAN（フタゴ ジャパン）株式会社がコラボして、昨年7月より、地元戸畑区の戸畑あやめや提灯等をモチーフとしたお土産として、アクセサリ制作の取組「コニセクト・プロジェクト※」を進めてきました。

この度、高校生たちが試行錯誤して企画・デザインしたアクセサリが完成したことから、下記の通り、武内市長へ報告いたします。

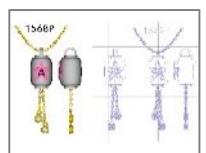
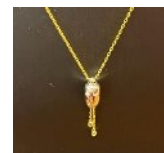
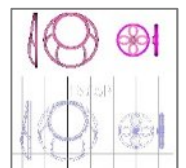
完成したアクセサリは、今後、北九州市の新たな土産品として、市内の店舗で販売される予定です。

※ コニセクトとは、「繋がる」の「CONNECT」と、「素敵」の「NICE」を掛け合わせた造語で「人々が繋がって素敵なアクセサリを作ろう」という思いから、高校生が考えた言葉。

なお、本プロジェクトは独立行政法人 中小企業基盤整備機構の「起業家教育プログラム」にも採用されており、2月11日に東京で行われる実施報告会で、高校生たちが発表します。（詳細は下記参照）

記

- | | |
|------|--|
| 1 日時 | 令和6年2月15日（木）15：40 ～ 16：00 |
| 2 場所 | 北九州市役所5階 プレゼンルーム |
| 3 次第 | 15：40 市長挨拶
15：43 高校生からの事業説明と完成報告
15：53 歓談
15：55 市長への贈呈と記念撮影 |



<起業家教育プログラムについて>

（独）中小企業基盤整備機構が推進する創業・ベンチャー支援のうち、教育現場（高等学校）で行われるもの。実施報告会開催概要は以下の通り（当日取材可能）。

名称： 中小機構「令和5年度 起業家教育プログラム 実施報告会」

日時： 令和6年2月11日（日） 13：00～17：00

会場： スタートアップインキュベーション施設「CIC TOKYO」

（東京都港区虎ノ門1丁目17-1 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー15F）

【問合せ先】企画調整局 企画課

担当：〔課長〕泊、〔係長〕江口 TEL:093-582-2904

FUTAGO JAPAN 株式会社について

国家戦略特区規制改革メニュー：スタートアップ・ビザ※を活用して、北九州市で起業し、小倉北区に店舗を構える香港発のスタートアップ企業。

香港では、結婚指輪専門店として業界トップの売上を誇る。

門司港の恋人の聖地「ブルーウィングもじ（跳ね橋）」にインスピレーションを受け、全7種類の「MOJIKO コレクション（結婚指輪）」を展開している。



代表取締役社長 Johnson Lai (ジョンソン ライ)

- ・ 2001年 カリフォルニア州立大学経済学部卒業
宝石や宝飾品に関する国際機関 GIA のダイヤモンド鑑定士の資格を取得
香港で宝石類の貿易事業をスタート
- ・ 2011年 「FUTAGO Jewelry Workshop Ltd.」を設立
個性的なデザイン性の高さが人気となり、香港で NO.1 のブライダルジュエリーブランドの地位を確立
- ・ 2018年 北九州市で国家戦略特区の制度 スタートアップ・ビザを活用し「FUTAGO JAPAN 合同会社」を創業
日本初となるご当地ブライダルジュエリー「門司港コレクション」を発表、門司港・北九州市を広く世界へ PR
北九州市と世界を結ぶ架け橋として、インバウンドウエディングの誘客にもつなげていきたいと考えている
- ・ 2023年 合同会社から株式会社に変更



※ 国家戦略特区規制改革メニュー：スタートアップ・ビザ

外国人が日本での創業を志した場合「経営・管理」の在留資格が必要となるが、(1) 事業所確保 (2) 2人以上の常勤職員の雇用もしくは資本金500万円以上の要件を満たさなければならない。この要件が厳しく優秀な外国人の創業のハードルを押し上げていたため、国家戦略特区での規制改革により半年間の創業準備期間を設けたもの。

起業家教育プログラムについて

「起業家教育プログラム」とは、(独) 中小企業基盤整備機構※が推進する創業・ベンチャー支援のうち、教育現場（高等学校）に的を絞ったもの。

起業だけのための教育ではなく、主体性、創造性、分析力、コミュニケーション力などの「これからの時代を生きる力」を身に着けるための教育を行うカリキュラムである。

具体的な内容は以下の通り。

- (1) 起業家教育プログラムの策定支援
- (2) 教員、学生からの相談対応
- (3) 講師等とのマッチングと派遣
- (4) 本プログラムの成果発表や関係校の相互交流の場の提供

令和5年度は、北九州市立高校の他9校が採択されている。

※ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構について

独立行政法人中小企業基盤整備機構法に基づき、経済産業省により設置された法人。国の中小企業政策の中核的な実施機関として、起業・創業期から成長期、成熟期に至るまで、企業の成長ステージに合わせた幅広い支援メニューを提供。地域の自治体や支援機関、国内外の他の政府系機関と連携しながら中小企業の成長をサポート。

具体的な支援内容等は以下の通り。

- (1) 事業の創出（企業・創業・ベンチャー支援）
- (2) 事業の発展（新規事業展開・IT活用・資金支援）
- (3) 事業の継続（事業継承・共済制度・震災復興、災害対応）
- (4) 経営相談（経営課題の解決）
- (5) 人材育成